

この事業は、長寿社会づくりソフト事業として実施しています。



立ち渡る
身の浮雲も
晴れぬべし
たえぬみ法の
驚の山風
日蓮聖人御詠

身延山の風光

この「立ち渡る」が始まる詩は、日蓮聖人が亡くなられる約二ヶ月前の一二八二年八月、六十一歳の時に、身延山にて詠まれた一首です。

日蓮聖人は、九年間における身延でのご生活の中で、この山を心より愛されました。釈迦は、インドの山、靈鷲山（りようじゅせん）で法華経を説いたとされていますが、日蓮聖人は、身延山を靈鷲山に見立て、信仰の山として位置づけています。

最期には「墓をば身延山に立てさせ給へ。未来際までも心は身延山に住むべく候」（お墓は身延山に建てて下さい。未来永劫、心は身延山にあります。）とご遺言され、この身延山こそ日蓮聖人の魂を留めている、真の靈山となっています。

「立ち渡る」の詩は、身延山で法華経の修行をし、悟りを得て、煩惱の浮き（憂き）雲が身延の山風（やまあらし）によって吹き払われることの悦びが、流麗な叙述で説かれています。

コース図



七面昇龍ロングコースは
累積標高2700m
特に七面山参道は
標高差1200mを一気に
駆け登る

全身全霊、
全てをかけて挑め！

距離・関門

七面昇龍 ロングコース

36 km

制限時間
8時間

6:00 当日受付開始
7:10 レースブリーフィング
7:40 スタート時間
〈第1関門・閉鎖〉羽衣
(10:10(スタートから2.5時間)・距離13.9km)
〈第2関門・閉鎖〉角瀬
(13:10(スタートから5.5時間)・距離24.5km)
14:30 表彰式
15:40 ゴール締切

思親報恩 ショートコース

13 km

制限時間
4時間

7:45 当日受付開始
8:45 レースブリーフィング
9:15 スタート時間
〈第1関門・閉鎖〉思親閣
(時間11:15(スタートから2時間・距離5.4km))
13:15 ゴール締切
14:30 表彰式

※規定時間内に関門を通過できなかった選手は、主催者が準備する車両で大会会場へ搬送します。

受付日

2014/11/29(日) 基本的に「前日受付」とします。やむ得ない場合のみ、当日受付をいたします。

■16:00～18:00 門前町主会場(仲町駐車場)にて、選手受付。■19:00より石川弘樹氏によるコースガイドンスを開催いたします。(入場無料)

かんのうどうきょう

＜感應道交の道をゆく＞



感應道交とは、仏と人間の気持ち、また教える者と、教えられる者の気持ちが通じ合うこと。

霊地 身延山

身延山は日蓮宗の開祖である日蓮聖人が、修行をされた場所であり、多くの人々に有り難い教えを広めた霊地でもあります。

この修行走は、古来からの「身延巡拝」の道をそのままコースとしています。その一部を、下記にご紹介致します。

このコースでは、法華経の霊地である身延山に点在する、経石を巡ることが出来ます。

是非この修行走を通じて、今なお多くの人々から信仰を集める修行の道、法華経の聖地である身延の靈氣を全身で感じて下さい。

全身全霊を尽くすものにこそ、身延山・七面山は真の姿を見せることでしょう。

△感應道交の道△

①久遠寺…日蓮宗の総本山。天井に飾られた龍の絵は圧巻。普段は走ることのできない境内を走ることが出来ます。

②思親閣…(思親親を思う)身延山・山頂にあり、日蓮聖人が故郷を思い出していた、道なき道を山頂まで登り、思親閣から父母を偲んで故郷・房州(千葉県)を拝んだ。

③赤沢集落…江戸時代には、身延講(身延参り)が流行し、身延山と七面山の巡拝者で賑わった。

④敬愼院…七面山・山頂付近にあり、修行者にご利益を与えて下さる神様を祀る。

※右の番号は、上の地図に場所を示したものです。他にも、古来の修行の足跡を多く目にする事が出来ます。